

木曽川水系相川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

1. 説明文
- (1) この図は、木曽川水系相川の岐阜県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、指定時点の相川の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により相川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体 岐阜県大垣土木事務所
 - (2) 指定年月日・告示番号 平成31年3月29日・岐阜県告示第206号
 - (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第3項
 - (4) 対象となる河川
 - ・木曽川水系相川 (実施区間)
 - 左岸: 不破郡垂井町岩手地先から大垣市上笠町地先(杭瀬川合流点)まで
 - 右岸: 不破郡垂井町岩手地先から大垣市上笠町地先(杭瀬川合流点)まで
 - (5) 指定の前提となる降雨
 - 相川流域の1日間総雨量741mm
 - (6) 関係市町村 不破郡関ヶ原町、不破郡垂井町、養老郡養老町、大垣市
 - (7) その他計算条件等
 - ① この図は、木曽川水系相川の(4)に示す区間で破堤等した場合の浸水継続時間を示しています。
 - ② この図は、相川の(4)に示す区間において、一定の条件で破堤等させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫解析計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

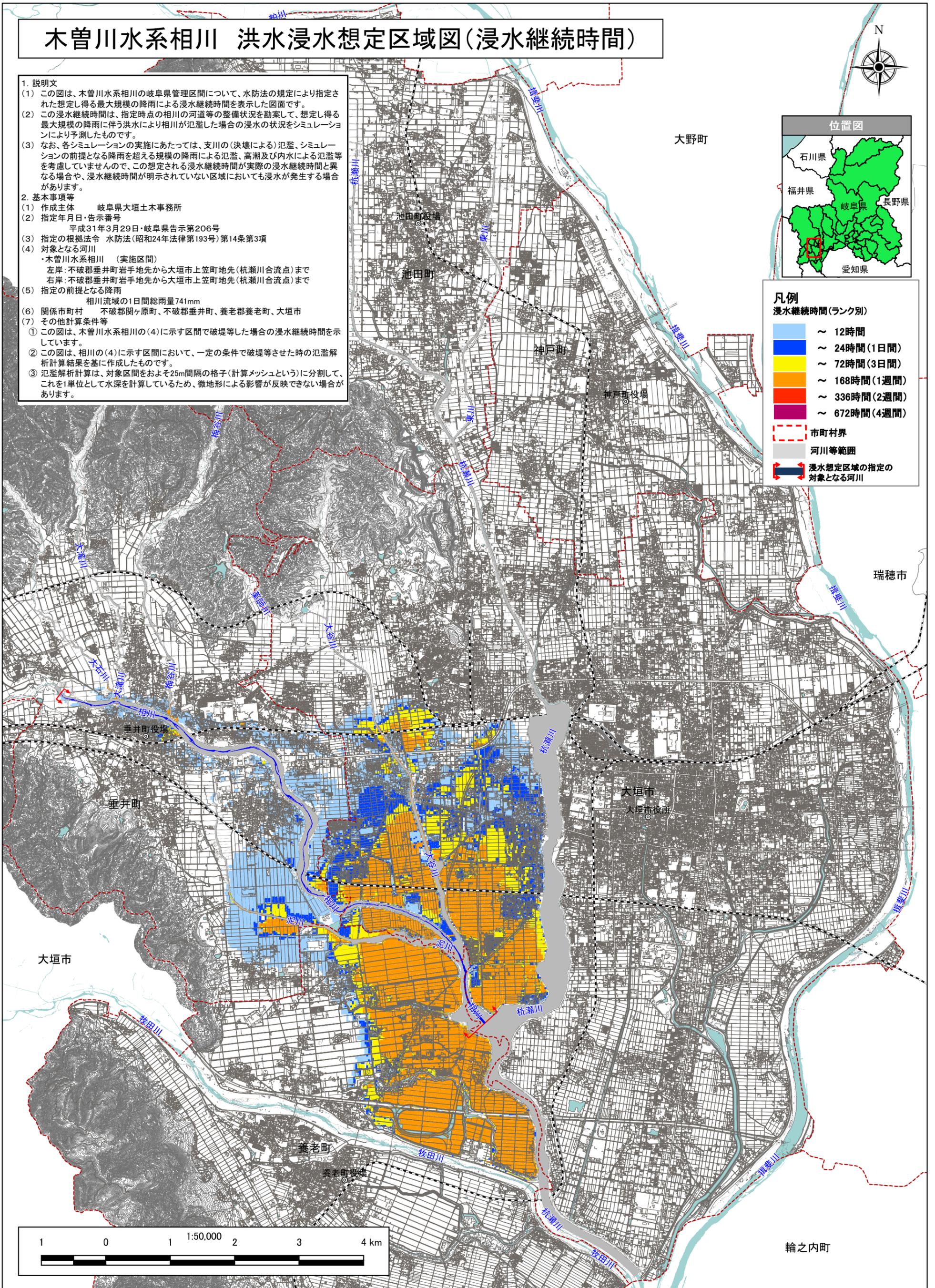


凡例

浸水継続時間(ランク別)

~ 12時間
~ 24時間(1日間)
~ 72時間(3日間)
~ 168時間(1週間)
~ 336時間(2週間)
~ 672時間(4週間)

市町村界
 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる河川



注)この図面は岐阜県共有空間データを使用しています。